

輪

生きるをささえる

vol.
98
2025.11

「特集」前立腺がんの

検査法について

夏休み体験イベント



ドクターに
聞く！



今月の健康

Q&A

寒くなる季節を元気に乗り切る
ポイントをお話します。



Q
uestion1

乾燥による肌トラブルが
気になります。予防法は？

皮膚科

A. 冬は乾燥対策が大切です。①熱い湯や石鹸の使いすぎは避け、ぬるめのお湯でやさしく洗いましょう。②入浴後は保湿の好機。タオルで水分を軽く拭き取り、5分以内に保湿剤を塗りましょう。③吸湿発熱繊維(ヒートテックなど)は肌の水分を奪うため、綿素材の下着を重ね着しましょう。

ちょっと質問

ストレス解消法

→ 甘いものを食べる



Q
uestion2

秋・冬は血糖値が
上がりやすいって本当？

内分泌代謝・糖尿病内科

A. 秋になると食欲が亢進し、カロリー摂取が増える傾向があります。寒くなり運動不足になることでカロリー消費量が減少、インスリン作用が低下、基礎代謝の低下により体内の脂肪が増えることなどで血糖値が上がりやすくなると言われています。

ちょっと質問

ストレス解消法

→ 俳句を詠む



Q
uestion3

体がだるくて、やる気が出ません。
季節のせい？

心療内科

A. 季節の変わり目の体調やメンタルの不調は、気象病や季節性うつなどと呼ばれ、気温や気圧の変動が自律神経の乱れを引き起こすことが一因と考えられます。予防には規則正しい生活、適度な運動とストレス発散が大切です。

ちょっと質問

ストレス解消法

→ カラオケ



標榜診療科一覧

内科	呼吸器内科	小児科	肛門外科	整形外科	小児外科	放射線科
肝臓内科	消化器内科	外科	肝臓外科	形成外科	皮膚科	病理診断科
血液内科	循環器内科	消化器外科	胆のう外科	リハビリテーション科	泌尿器科	救急科
感染症内科	腫瘍内科	乳腺外科	膵臓外科	脳神経外科	産婦人科	麻酔科
診療内科	内分泌・糖尿病内科	内分泌外科	食道外科	呼吸器外科	眼科	歯科
精神科	緩和ケア内科	大腸外科	胃腸外科	心臓血管外科	耳鼻咽喉科	

基本理念

わたしたちは公共的使命を自覚し心のこもった最高最良の医療を提供します

基本方針

1. 患者さんの権利 個人情報保護し 患者さんの立場に立った医療を行います
2. 十分な説明と同意による信頼関係のもとに 患者さんが満足できる医療を行います
3. 安心かつ安らぎが得られる質の高い医療をめざし 安全管理を徹底します
4. 常に研鑽して最高水準の医療知識・技術を習得し あわせて温かい心を持つ医療人をめざします
5. 地域における役割を自覚し 地域の医療機関とともにその責務を果たします
6. 合理的かつ効率的な病院経営に努めます
7. 職員が誇りを持ち、安心して働ける職場環境をつくれます

編集後記

広報誌「輪」編集長 沼口 宏太郎

「本物の手術みたい!」と目を輝かせる子供たち。医師・看護師・薬剤師・リハビリスタッフとのふれあいを通じて、医療の世界の楽しさと奥深さを体感してもらいました。子供たちの笑顔に、私たち自身も初心を思い出すひととき。未来への希望が確かに芽生えたイベントとなりました。

輪 vol.98

発行日：2025年11月1日



地方独立行政法人 北九州市立病院機構

北九州市立医療センター

〒802-8561 北九州市小倉北区馬借二丁目1番1号

TEL.093-541-1831(代表) FAX.093-533-8693

外来予約センター 093-533-8640

[月～金 9:00～16:30]紹介状または二次検診初診受付

ホームページ <https://www.kitakyu-cho.jp/center/>



ホームページ



Facebook



Instagram



X

※本紙では撮影用にマスクを外しています。

前立腺がん

の検査法について

前立腺がんとは

前立腺は、男性のみにある臓器です。膀胱の出口側に尿道のまわりを取り囲むように位置し、後面は直腸に接しています。前立腺は精液の一部となる前立腺液をつくっています。

前立腺がんとは、前立腺の細胞が何らかの原因で異常に増殖することにより起こる病気で、悪性腫瘍（がん）の一つです。

高齢になるほど発症率が高く、特に60歳以



北九州市立医療センター
泌尿器科 統括部長
長谷川 周二
(はせがわ しゅうじ)
専門医
・日本泌尿器科学会専門医・指導医
・臨床研修指導医

私がお答えします！

上に多く、2020年（2025年6月時点）で最新の統計）の日本人男性における部位別がん罹患数で第一位になっています。今後、高齢化の進行に伴い、さらなる増加が見込まれています。多くの場合、比較的ゆっくり進行し、早期に発見して適切な治療を行えば、治癒が望めます。

前立腺がんの症状

早期の前立腺がんは、多くの場合、自覚症状がありません。ただし、がんが進行し尿道を圧迫すると、尿が出にくい、排尿の回数が多い（頻尿）などの症状が出ることもあります。進行すると、排尿の症状に加えて、血尿や排尿痛、骨への転移による腰痛などがみられることがあります。

前立腺がんの検査

前立腺がんでは、最初にPSA（前立腺特異抗原）検査を行い、基準値を超えているときは直腸診を行います。これらの検査で前立腺がん

2 MRI検査

磁気を使って前立腺の内部を詳細な画像で映し出す検査です。

がんの有無や場所、前立腺の外への広がり、リンパ節への転移の有無などを調べます。MRIで疑わしい病変が見つからない場合、不必要な生検を回避できる可能性があります。

3 前立腺針生検

PSA値、MRI検査などから前立腺がんが疑われる場合、診断を確定するために前立腺生検を行います。

局所麻酔、または下半身麻酔を行い、肛門から超音波を発する器具を挿入し、経直腸超音波検査による画像を観察しながら、前立腺に細い針を刺して複数力所の組織を採取します。肛門から針を刺す経直腸生検と肛門と陰囊の間の皮膚から針を刺す経会陰生検があります。採取した組織を顕微鏡で観察し、がん細胞の有無を調べます。

MRI超音波融合前立腺針生検 (MRI/TRUS fusion protaye biopsy)

当科では、2025年6月から、前立腺生検の効率化を支援するMRI-US fusion前立腺生検システム「ARIEtta 65 IntuitiveFusion」を導入しました。

従来は、超音波画像を見ながらランダムに組織を採取する「超音波ガイド下前立腺生検」が一般的でした。それに対し、「MRI/超音波融合前立腺針生検 (MRI/US fusion prostate

が疑われる場合には、MRIを用いた画像検査を実施して確認し、最終的に経直腸エコーを用いた前立腺生検を行って、がんかどうかを診断します。

がんの広がりや転移の有無は画像検査（CT検査、骨シンチグラフィなど）で調べます。

1 PSA検査

PSAは、前立腺でつくられるタンパク質の一種で、前立腺がんの腫瘍マーカーとして用いられています。

がんや炎症により前立腺組織が壊れると、PSAが血液中にもれ出し、血液中のPSA量が増加します。PSA値が4.0 ng/mL以上で精密検査が推奨されます。PSA検査は非常に有用ですが、良性の前立腺肥大症や前立腺炎でも数値が上昇することがあり、PSA値が4.0~10.0 ng/mLのいわゆる「グレーゾーン」では、がんであるかどうかの判別が難しいという課題があります。

この課題を克服するため、PSAをより詳細に分析する検査方法が研究・開発されました。

新しい前立腺がんの腫瘍マーカー・診断法

●fPSA（遊離型PSA）／総PSA比 (Free PSA/Total PSA Ratio)

PSAは血液中で、他のタンパク質と結合した「結合型」と、結合していない「遊離型」の2つの形で存在します。

前立腺がんの場合、遊離型PSAの割合が

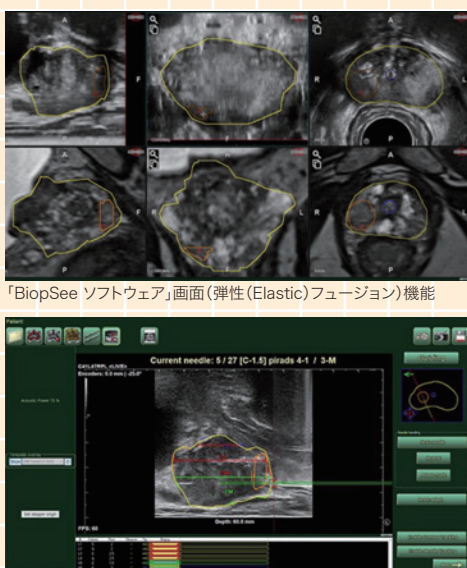
「biops）」は、MRIと超音波の画像を組み合わせてやることで、より正確に疑わしい病変を狙って組織を採取する新しい方法です。

MRIとの融合により、疑わしい病変をピンポイントで狙うことができるため、より正確にがんを発見できる可能性が高まります。

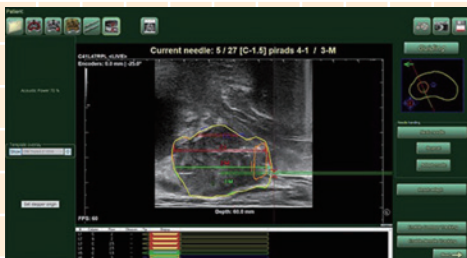
前立腺がんの治療法は、がんの進行度合い（病期）、がんの悪性度、患者さんの年齢や全身体態、合併症の有無、そして患者さんの価値観や生活環境などを考慮して、総合的に決定されます。



MRI-USフュージョン前立腺生検システム「ARIEtta 65 IntuitiveFusion」



「BiopSee ソフトウェア」画面 (弾性 (Elastic) フュージョン) 機能



「BiopSee ソフトウェア」画面 (生検ガイド機能)

「医療連携の会」を開催いたしました

7月10日、リーガロイヤルホテル小倉において地域医療機関156施設256名の方にご参加いただき、「医療連携の会」を開催いたしました。

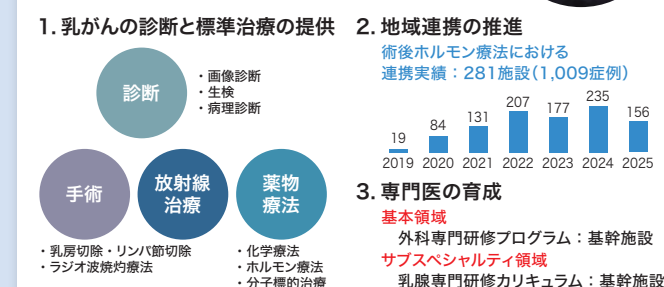
新任副院長・統括部長・主任部長の挨拶と診療科紹介として乳腺センター、放射線治療センター、胆膵センター、低侵襲ロボット治療センター、血液内科の紹介をさせていただきました。

懇親会では、地域の医療従事者の皆さんと当院職員との活発な意見交換が行われ、皆さんと対面で「顔の見える」交流を図ることができました。

「乳腺センターのご紹介」

乳腺外科統括部長 齋村 道代

乳腺センターの役割



「胆膵センター」

消化器内科部長 舩岡 真之

Take Home Message

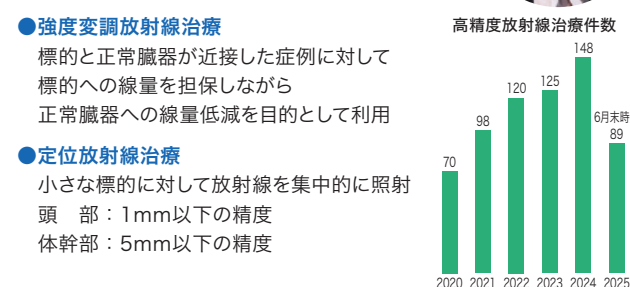
- 胆膵悪性腫瘍は最も難治性の高い疾患である。
- 超音波内視鏡検査の普及により、胆膵悪性腫瘍の診断能は飛躍的に向上している。
- 遺伝子パネル検査、免疫チェックポイント阻害剤、ロボット手術などの低侵襲手術の普及により、胆膵悪性腫瘍の治療も進歩しつつある。

予期せぬ血糖コントロールが見られた場合、腹部USでの膵疾患の有無の評価を！
疑わしい症例がありましたら
当院胆膵センターにご相談ください！

「当院の放射線治療の現状」

放射線診療科 野々下 豪

高精度放射線治療とは



「低侵襲ロボット治療センター」

泌尿器科主任部長 立神 勝則

外科領域では、治療の確実性と安全性を維持しながら低侵襲性を向上させるために、ロボット支援手術が普及

2019年11月 ロボット支援手術システム“ダヴィンチ”を導入
2024年 7月 増加する手術に対応するためにダヴィンチ2台体制
2024年 8月 低侵襲ロボット治療センターを開設

主に以下のようなマネージメントを行っています

- ①安全性の維持: 緊急対応マニュアルの作成、ロボット不具合の監視
- ②術者の技量向上のための教育: シミュレーションによる訓練
- ③待機患者をなくすための効率的な運用: 予約システムの構築

「血液内科」

血液内科副院長 大野 裕樹

血液内科の実績 (1991年～2021年)

- ・累計移植実施件数 1,119件
- ・さい帯血移植件数 351件

北九州の移植総数

	自家移植	血縁者間同種移植	非血縁者間骨髄移植	非血縁者間末梢血幹細胞移植	さい帯血移植	移植総数
北九州市立医療センター	536	222	8	2	351	1,119
小倉記念病院	144	134	106	1	146	532
産業医科大学	144	79	56	3	39	321
JCHO九州病院	119	50	46	6	47	268

2022年度 全国調査報告書
日本造血・免疫細胞療法学会

チーム医療、裏側の主役たち。



診療放射線技師

診療支援部放射線技術課

おの あやか

大野 耶佳

8:00 動作確認・環境整備

毎朝、CT装置や周辺機器の動作・画質を確認し、検査室の環境も整えています。安全で正確な検査ができるよう、万全の準備をして患者さんをお迎えしています。

8:30

診療放射線技師、看護師、受付スタッフが集まり、当日の検査内容や注意点を確認しています。造影剤の副作用など大切な情報を共有し、検査を安全かつスムーズに行えるよう準備しています。



12:30 交代しながら休憩

交代で休憩を取りながら、検査件数が多い日は昼の時間帯にもCT検査を行いより多くの患者さんに対応できるよう努めています。



13:30

午後は予約検査に加え、心臓の血管や大腸の仮想内視鏡、CTガイド下生検などの特殊な検査も行われます。診療放射線技師、看護師、受付スタッフ、医師が連携し、安全に検査を進めています。

17:30

検査終了後、手術をサポートするための3D画像を作成します。3D画像は、手術計画に役立てられます。



こんなことも聞いてみました！

- Q1. 患者さんと接するときに心がけていることは？
- A. 検査を受けるのに不安な方が多いと思うので、少しでも検査を受けて良かったと思ってもらえるよう、笑顔で丁寧な対応を心がけています。
- Q2. ご自身の健康管理で特に気を付けていることは何ですか？
- A. いっぱい食べていっぱい寝る！
日々の業務に全力で取り組めるように常にエネルギー満タンにしています！

医療の現場でどんな1日を過ごしているのか、患者さんに向き合う気持ちやちょっとした工夫をインタビュー。タイムスケジュールと一緒に、スタッフの素顔や温かさをお届けします。



臨床工学技士

診療支援部臨床工学課

いづみ だ あ ゆ み

泉田 采優光

8:30 業務開始

9:00 心臓カテーテル検査

主に検査前の準備と、検査中の機器の操作を行っています。血管内から超音波を当てて観察したり、心臓の働きを評価するための検査をしたりしています。



12:00 お昼休憩

業務に差し支えないようにCE同士で順番に休憩を取ります。お昼ご飯はお弁当を持参するようにしています！

13:00 ペースメーカー業務

植え込みやMRI撮像を行う時に正常に動いているかのチェックと設定をしています。また、半年ごとにペースメーカーを植え込んでいる患者さんの定期チェックも行っています。

16:00 返却された医療機器のメンテナンス

病棟から返却された使用後の機器の清掃や点検、年に1回の定期点検を行います。その中で修理が必要な機器があれば修理を行っています。



17:00 業務終了

こんなことも聞いてみました！

- Q1. 患者さんと接するときに心がけていることは？
- A. 患者さんに安心してもらえるように声をかけを大切にしています。小さなことでも一言添えるように心がけています。
- Q2. 生命維持管理装置のトラブルを防ぐために日々の点検で最も注意していることは何ですか？
- A. 小さな異常にも気づけるように注意を払い、常に安全に使用できる状態を保つようにしています。



夏休み体験イベント を開催しました!

令和7年8月23日(土)に夏休み体験イベント「あつましました。イベントには小学5・6年生16組が参加し、士の体験を行いました。

医師ブースでは術衣を着用し、電気メスや縫合などの度(SpO₂)や血圧の測定、点滴の側注体験を実施しました。薬剤師ブースでは処方箋に沿って模擬薬(お菓子)力などの筋力測定、手を使って行う上肢機能検査、舌のは経験できない本格的な医療現場さながらのプログラムに挑戦しました。

参加者からは、「縫合が楽しかった」「病院の先生にな白かった」「もっと医療従事者への興味が深まった」「初声が寄せられました。

保護者からも「このような機会がなければ体験をでき療機器をスペシャリストからご指導いただけて、親子であり、大変好評でした。

短い時間でしたが、とても素敵な笑顔で楽しそうにおディカルキッズの皆さんと一緒に働けることを、心から楽

れ!メディカルキッズ 医療のお仕事を体験しよう」を開催親子で医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法

体験を実施、看護師ブースでは経皮的動脈血酸素飽和た。薬剤師ブースでは処方箋に沿って模擬薬(お菓子)力などの筋力測定、手を使って行う上肢機能検査、舌のは経験できない本格的な医療現場さながらのプログラム

りたいと思った」「リアルな医療従事者の体験ができて面めて知ることたくさんあって勉強になった」など多くの

ない内容で、とても贅沢だなと思いました。」「本物の医とても素晴らしい経験ができてよかったです。」と感想が

仕事体験に取り組んでいる姿が印象的でした。将来、メしみにしています。

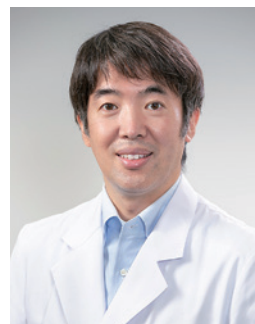
閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する新規治療 舌下神経電気刺激装置植込み術について

閉塞性睡眠時無呼吸（以下OSAと略）は日本でも有病者900万人に及ぶとされる疾患で、睡眠中の無呼吸や低呼吸により、高血圧や不整脈といった循環器疾患から、脳梗塞などの脳血管障害、さらには日中の眠気や集中力低下から来る交通事故、生産性低下など、いわゆる“万病の元”です。

従来よりCPAP（持続陽圧呼吸療法）という医療機器が汎用されていますが、中には様々な理由により継続使用できず、十分な治療効果が得られない原因となっています。

舌下神経電気刺激装置（以下HNSと略）は植込み型の医療機器で、夜間呼吸と同期して、舌下神経を電気刺激することで、OSAの責任部位である舌根部を持ち上げて、夜間の気道閉塞・狭窄を防ぐものです。海外では5万件の使用実績があり、本邦でも2021年6月に保険収載されました。

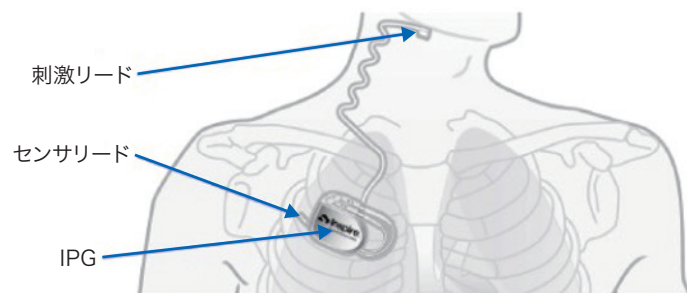
本治療法の適応には、①夜間終夜ポリソムノグラフィーで無呼吸低呼吸指数20以上、②CPAP不適合又は不耐容、③18歳



耳鼻咽喉科
主任部長
竹内 寅之進
(たけうち ともしん)

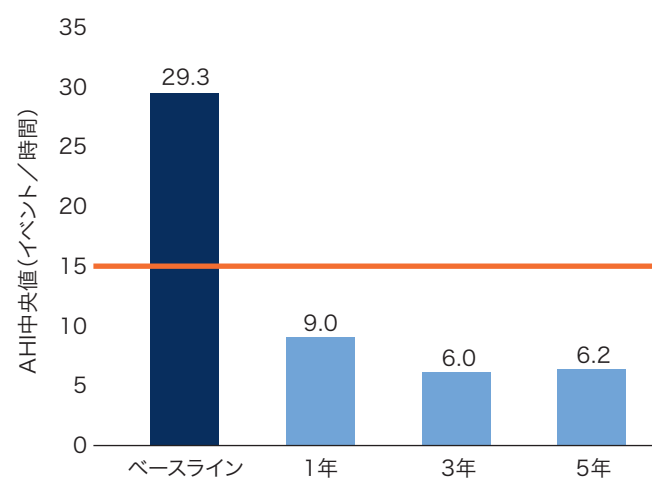
以上、④BMIが30未満、⑤薬物睡眠下内視鏡検査で軟口蓋の同心性虚脱がない、⑥中枢性無呼吸の割合が25%以下、という条件があります。⑤については事前に入院検査で適応判断を行います。②については日本睡眠学会総合専門医であり、北九州市内有数の睡眠専門施設である有吉祐睡眠クリニックの有吉医師と連携の上、適応判断いただくことになっております。

HNS植込み術は保険収載以来、全国で100件近く実施されており、九州では現在、当院の他に産業医科大学病院、久留米大学病院、琉球大学病院で手術可能ですが、CPAPは使っているが、今一つ日中の眠気がとれない、CPAPをずっと装着するのが大変、そんな方は一度当科もしくは有吉祐睡眠クリニックにご相談ください。

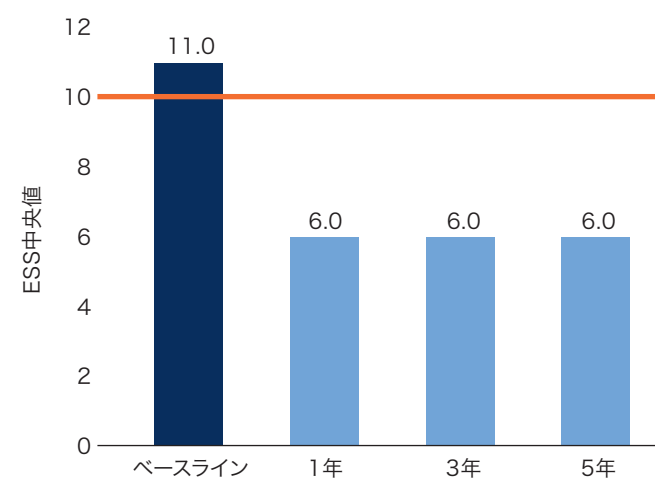


図A：Inspire USAシステム

無呼吸低呼吸指数(AHI)



エプワース眠気尺度(ESS)



職場紹介



入口



相談室内部

栄養相談室



当院別館2階に「栄養相談室」を設けており、管理栄養士が患者さん一人ひとりの病状に応じた食事のアドバイスを行っています。

糖尿病や脂質異常症、腎臓病などの慢性疾患では、食生活の見直し、病気の治療や進行の予防にとっても大切です。また、近年2人に1人が罹患すると言われている「がん」についても、栄養状態を保つことが治療を完遂するために重要です。

医師の指示に基づき、管理栄養士が適切な食事の内容や摂り方について、フードモデル(食品サンプル)や資料を用いて丁寧にご説明いたしますので、お気軽にご相談ください。

スタッフ紹介

食事の不安やお悩み
お気軽に何でもご相談ください

首藤 香菜子
管理栄養士
(しゅとう かなこ)

旅行に行くならどこ？
北海道

谷川 佳織
管理栄養士
(たにがわ かおり)

旅行に行くならどこ？
韓国

加来医院

福岡県鞍手郡小竹町勝野3547-2 TEL:0949-62-0055



診療科目

内科、呼吸器内科、胃腸内科、アレルギー科、小児科、皮膚科、訪問診療

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●	—
14:30~18:00	●	●	—	●	●	—	—

※水・土曜日は9:00~13:00まで
第1月曜日と第3木曜日の9:30~13:00は皮膚科外来を
行っております。



か く よう いち ろう
副院長 加来 庸一郎 医師

当院について

当院は、1713年から小竹町で診療しているクリニックです。内科、呼吸器内科、胃腸内科、アレルギー科、小児科、皮膚科、訪問診療を中心に診療しています。呼吸器内科専門医が常勤しています。また、24時間体制で在宅医療も行っています。新しいクリニックを建設中で2025年12月開院予定です。

地域の方へ、患者さんへのメッセージ

地域のかかりつけ医として、患者さんに寄り添って医療を提供します。気になる症状や病状でお気軽にお問い合わせください。在宅医療にも力を入れており、地域に密着した医療を提供できるように努めています。

information

市民公開講座

当院では、身近な病気や健康を維持するための役立つ情報について、分かりやすく講演する市民公開講座を開催しています。9月20日に市民公開講座を行い、91名と多くの方にご参加いただきました。

遺伝性腫瘍のお話

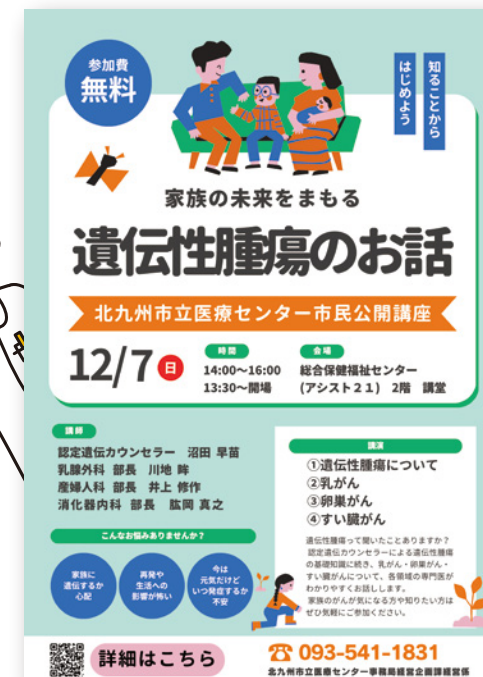
12月7日(日) 開場 13:30
開演 14:00~

場所 総合保健福祉センター(アシスト21)2階講堂

- 講演① 遺伝性腫瘍について
認定遺伝カウンセラー 沼田 早苗
- 講演② 乳がん
外科部長 川地 眸
- 講演③ 卵巣がん
産婦人科部長 井上 修作
- 講演④ すい臓がん
消化器内科部長 脇岡 真之



認定遺伝カウンセラーによる遺伝性腫瘍の基礎知識に続き、乳がん・卵巣がん・すい臓がんについて、各領域の専門医がわかりやすくお話しします。家族のがんが気になる方や知りたい方は、ぜひ気軽にご参加ください。



社会医療法人北九州病院 北九州中央病院



〒802-0084
福岡県北九州市小倉北区香春口一丁目13番1号
TEL:093-931-1085

診療科目

内科・循環器内科・消化器内科・リハビリテーション科



に し はら かず よし
院長 西原 一善 医師

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	●	●	●	●	●	—	—

受付時間は平日：午前8時30分~11時30分
(新患の方は午前11時まで受付)

連携病院のご紹介

当院について

北九州中央病院は、北九州市立医療センターなどの急性期病院で治療を受けられ、自宅退院することが難しい患者さんに対して、自宅や施設までの橋渡しする役割を担っています。

回復期リハビリテーション病棟では、理学、作業、言語聴覚療法を行い、元気に自宅に戻っていただきます。障害者施設等病棟では、神経筋疾患、運動器疾患、などの患者さんに治療を行います。療養型病棟は長期療養が必要な患者さんに必要な医療を提供します。

地域の方、患者さんへメッセージ

「地域医療構想」とは、医療機関の機能分化・連携を進め、効率的で良質な医療提供体制を構築するための取り組みです。

当院では、北九州市立医療センターなどの急性期病床での治療が終了した患者さんを、回復期・慢性期病床で引き継ぎ、自宅退院までの医療を継続します。残念ながら自宅退院が難しい患者さんにはソーシャルワーカーが希望に沿った施設を紹介します。

介護に疲れたご家族が休息を取れるようレスパイト入院の受け入れも行っています。

当院リハビリテーション技術課 松本 英大言語聴覚士が、認定言語聴覚士(成人発声発語障害領域)に認定されました



●認定試験を受けるきっかけ...

このたび、認定言語聴覚士(成人発声発語障害領域)を取得いたしました。当院では、頭頸部がんや脳卒中により発語運動障害(声がうまく出せない、呂律不良など)を呈し、コミュニケーションが困難となる患者さんがいらっしゃいます。意思疎通が難しくなると、不安や孤立感を招き、生活の主体性や人とのかわりにも影響を及ぼします。その支援の重要性を強く感じたことが、認定取得を目指す大きなきっかけとなりました。

●今後の業務にて...

講義や試験を通じて、専門的な知識や技術を体系的に学びなおすことで、根拠に基づいた評価や訓練がこれまで以上に実践できるようになりました。

今後は、患者さんやご家族に安心してリハビリを受けていただけるよう努めるとともに、院内外で知識を共有し、後進の育成にも貢献してまいりたいと考えております。